

2024年9月18日
炎重工株式会社

日本水上ドローン協会にて勉強会を開催しました

～「水上ドローンの可能性を探る」をテーマに、約50名にご参加いただきました～

炎重工株式会社（所在地：岩手県滝沢市穴口57-9、代表取締役：古澤洋将、以下弊社）が理事を務める一般社団法人日本水上ドローン協会（※）は、8月27日（火）に筑波大学 東京キャンパスにて第1回 水上ドローン勉強会を開催しました。

（※）一般社団法人日本水上ドローン協会（SDAJ）：エバーブルーテクノロジーズ株式会社・株式会社ライトハウス・炎重工株式会社の3社で立ち上げた、水上ドローンに関する認知・理解度の向上、市場活躍の機会の拡大、海洋産業の健全な発展及び無人ヨット・ボートなどの社会課題の達成に貢献することを目的とした非営利団体です。

事前申込にてお集まりいただいた水上ドローンの発展と現状に興味を持つ企業・団体と、水上ドローンの基礎知識から活用事例や可能性、船舶や水域における法規制などを学び、意見交換を行いました。

同協会の設立趣旨や目的などを説明した後、各理事より水上ドローンの取り組みと最新の活用事例などをお話させていただきました。

参加者の皆様は、水難救助やインフラ設備点検、警備監視、海洋センシングなどさまざまなシーンで活躍が期待される水上ドローンの話を熱心に聞かれており、具体的な質問も多くいただきました。

その他、各省庁や団体など、多岐に渡る水上ドローンに関係する法規制の現状と課題、必要な申請手続きなどをまとめ、わかりやすく学ぶセッションも実施しました。特別顧問の南憲吏准教授（北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 水圏ステーション）からは、研究者視点での水上ドローンの可能性などについてお話いただきました。



開始10分前ではほぼ満席の会場。途中休憩を挟み、最後まで熱気あふれる勉強会となりました。

第1回勉強会「水上ドローンの可能性を探る」プログラム

はじめに：ご挨拶と協会についてのご説明（日本水上ドローン協会代表理事 野間恒毅）

Session1：小型水上ドローンによる水難救助、インフラ設備点検（炎重工 仲野喜美子）

Session2：高機動型と帆船型ドローン、高速 x 長時間稼働 x 積載力で広がる可能性（エバーブルーテクノロジーズ 野間恒毅）

Session3：海洋センシングプラットフォームとしての水上ドローン（ライトハウス 松野洋介）

Session4：水上ドローンに関する法規制の現状と課題（日本水上ドローン協会理事 古澤洋将）

基調講演：研究視点でみた水上ドローンの活用と可能性（北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 水圏ステーション 南憲吏准教授）

今後の取り組み

一般社団法人日本水上ドローン協会では、水上ドローンの認知向上・活躍機会の拡大、海洋産業の健全な発展のため、ご賛同いただける会員を募集しています。皆さまと、さらなる学びや活発な意見・情報交換の機会を増やし、社会問題の解決・社会課題の達成へ向けてますます貢献していきたいと思いますので、ぜひともご賛同・ご入会をお待ちいたしております。

ご入会につきましては以下よりお問合せください。

一般社団法人 日本水上ドローン協会（SDAJ）公式サイト

<https://www surfacedrone.org/>

本件に関するお問い合わせ先

info@hmrc.co.jp

炎重工株式会社

URL <https://www.hmrc.co.jp/>

以 上